

船員を目指そう!フェリーあい体験航海!

和歌山県白浜町立第一小学校、第二小学校の児童 32 人

6 月 3 日、和歌山県和歌山市で体験乗船を通じて海や船に親しんでもらうことを目的として本組合の大阪支部が企画・主催した「船員を目指そう!フェリーあい体験航海」を開催し、和歌山県白浜町の白浜町立第一小学校 6 年生 22 人と、白浜町立白浜第二小学校 6 年生 10 人が参加した。

後援として、白浜町教育委員会、近畿運輸局、近畿海事広報協会、近畿旅客船協会、そして南海フェリー株式会社の全面協力の下、関西地方支部管内執行部と職場委員が中心となり実施した。

和歌山港と徳島港を結ぶフェリーあいに乗船

子どもたちが楽しみにしていた「フェリーあい」の体験航海の日は、あいにくの雨だったため、開会式はフェリー乗船口付近の待合所で行った。開会式では、平岡英彦中央執行委員が「今日は、実際にフェリーに乗船して、操舵室見学やロープワークなどさまざまなイベントが体験できます。今日一日、けがのないよう楽しんでほしい」と主催者代表あいさつをした後、三浦真一近畿運輸局海事振興部次長、小林敏二南海フェリー株式会社代表取締役社長それぞれからあいさつが述べられた。

続いて、児童代表の西山芽依さんからあいさつがあり、平岡英彦中央執行委員からは、記念の帽子を贈呈した。その後、児童たちは 3 班に分かれ、南海フェリーの「フェリーあい」に乗船し、さまざまなイベントを体験した。

ロープワーク体験では、船の作業で基本となる「巻き結び」「本結び」「もやい結び」を教わり、児童たちは上手に結べるよう真剣に取り組みながら楽しく学び、全員が結び方をマスターした。

その後の入港準備では、坂口明日馬さんが児童を代表し、子ども船長として操舵室で船長業務を手伝った。

フェリーが和歌山港に着栈した後、船内で昼食を済ませ、閉会式を行った。浦隆幸関西地方支部長が「今回の体験乗船を通じて、皆さんが中学生、高校生になり進路を決める際、船員職業を一つの選択肢にしていってほしい」とあいさつした後、児童代表の中村光希さんと白浜町立白浜第一小学校の嶋口智一校長先生からお礼の言葉が述べられた。最後に児童全員に記念品が手渡され下船した。

児童たちは、一日お世話になった感謝を込め「フェリーあい」の出港に全員で手を振って見送り、体験乗船を終了した。

「海員だより」